

**「カー・エレクトロニクス設計開発中核人材育成事業」の
経済産業省「中小企業産学連携製造中核人材育成事業」での採択について**

北九州市は、本年7月にカー・エレクトロニクスセンターの設置を予定するなど、自動車産業の今後の発展を担うといわれているカーエレクトロニクスを産業振興の柱として取り組んでいる。

その取組みの一環として、現在、決定的に不足しているカーエレクトロニクス専門の高度技術者を学研都市3大学で輩出することとしているが、その仕組みの柱として、経済産業省に申請をしていた標記事業が採択された。

本事業の特徴は、

自動車・電装品メーカーとの協議を通じての企業ニーズに即した教育プログラム

学研の3大学がそれぞれの強みを活かして取り組むことによる総合力

即戦力養成のための実践演習講座の充実

などであり、これらが今回の採択にあたって評価された。

本事業には、学研都市3大学及び27の自動車関係の企業・団体が参加し、2ヵ年をかけて、教材の開発・実証などを行うこととなっており、今後、毎年60人のカーエレクトロニクス専門の高度技術者が学研都市から輩出される予定である。なお、詳細については、以下のとおりである。

記

1 採択事業名

カー・エレクトロニクス設計開発中核人材育成事業

(我が国の製造現場における中核人材の育成・強化を目的とする経済産業省「中小企業産学連携製造中核人材育成事業」として採択されたものであり、今年度全国で31件の申請があり、19件が採択されている。)

2 実施機関及び実施地域

実施機関：財団法人北九州産業学術推進機構（FAIS）

実施地域：北九州学術研究都市

3 事業内容

以下の6つの教育システムに関する教材開発及び実証を行う。

- (1) 組込みシステム実習【中心機関：FAIS】
- (2) インテリジェントカー統合システム【中心機関：早稲田大学】
- (3) 車載用知的情報処理【中心機関：九州工業大学】
- (4) 耐故障性/信頼性/機能安全性概論【中心機関：FAIS】
- (5) 車載向けLSI設計演習【中心機関：北九州市立大学】
- (6) 高信頼組込みシステム開発演習【中心機関：北九州市立大学】
- (7) 企業研究部門への実践的派遣教育【中心機関：FAIS】

4 事業推進体制 別紙のとおり

5 その他

- (1) 教材等開発期間においても、順次開発されたものについて、学生等を対象に実証をかねての教育を行う。
- (2) 平成21年度からは、毎年60人が本事業で開発されたプログラムを履修し、カーエレクトロニクス専門家として産業界に送り込まれる予定。
- (3) 本プログラムと並行して、カーエレクトロニクス関係企業への長期インターンシップ、企業技術者の再教育なども予定している。

1 事業参画団体、企業一覧

管理法人(財団法人北九州産業学術推進機構(FAIS))

再委託先(テキスト開発・教材開発・講師派遣・実践的派遣教育)

【大学等高等教育機関】

国立大学法人九州工業大学、公立大学法人北九州市立大学、早稲田大学

協力機関(テキスト開発協力・教材提供・講師派遣・普及)

【民間企業】

トヨタ自動車株式会社 日産自動車株式会社 富士重工業株式会社
ダイハツ工業株式会社 マツダ株式会社 株式会社デンソー
アイシン精機株式会社 株式会社豊田自動織機 株式会社東芝
富士電機システムズ株式会社 富士電機アドバンステクノロジー株式会社
ガイアシステムソリューション株式会社 トヨタテクノデバイス株式会社
九州電力株式会社 株式会社安川電機 株式会社ゼンリン
安川情報システム株式会社 ディー・クルー・テクノロジー株式会社
吉川工業株式会社 株式会社ジーイーエヌ
NECマイクロシステム株式会社 株式会社 JAPAN ROBOTECH
ミツミ電機株式会社

【北九州市内中小企業団体】

北九州情報サービス産業振興協会(市内中小企業61社)

【独立行政法人】

独立行政法人情報処理推進機構ソフトウェアエンジニアリングセンター(以下、SEC)
(タスクフォース参加組織:110組織)

独立行政法人産業技術総合研究所システム検証研究センター

【その他】

NPO法人組込みソフトウェア管理者・技術者育成研究会(SESSAME)

2 事業実施に係る体制概要

